

【がん種】 [乳癌](#)
【レジメン名】 Trastuzumab+Pertuzumab
【登録番号】 100156
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 術後補助: 14コースまで (DTX+Trastuzumab+Pertuzumabによる術後補助療法4コース施行後に施行する。DTX+Trastuzumab+Pertuzumabと合計で1年間まで)
【催吐性リスク】 最小度: パーージェタ, トラスツズマブ
【抗がん剤の組織障害性】 ノンビシカント (非壊死性): パーージェタ, トラスツズマブ
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 注入に伴う反応、間質性肺炎、心不全

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 377:122-131, 2017.

【点滴の時間】 [day1]初回3時間30分、2回目～2時間
【費用】 編集中
【その他】 対象患者: HER2+, 術後補助療法で。DTX+Trastuzumab+Pertuzumabを施行した患者。トラスツズマブ: 投与間隔が4週間を超える場合は8mg/kg/日で投与。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日		
					1	...	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		
2	生理食塩液 250mL パーージェタ点滴静注 初回840mg/body、2回目～420mg/body	1 B - mg/回	側管	初回1時間、2回目～30分	○		
3	生理食塩液 250mL トラスツズマブBS点滴静注用「NK」 注射用水 20mL 初回8mg/kg、2回目～6mg/kg	1 B - mg/kg 1 A	側管	初回90分、2回目～30分 トラスツズマブ溶解用	○		